

軽井沢高原文庫 夏季特別展

130年の軽井沢

室生犀星・堀辰雄・川端康成・遠藤周作…

「僕は歩いてみた 風のなかを」。堀辰雄は「詩集」の中で、そう記しました。今から130年前の1886年(明治19)、軽井沢はカナダ人宣教師によって避暑地として見出されました。以降当地は、文学者などからも愛される土地になり、様々な作品に描かれ、独特の文学風土を育んできました。緑豊かな自然や戦争の時代の社会情勢など、作家たちは時代ごとに各々の視線で当地を描写しています。今展では、明治から昭和までに発表された、優れた「軽井沢文学」をご紹介します。室生犀星、堀辰雄、川端康成、遠藤周作らを始めとする多くの作家たちが、小説や詩、随筆、俳句、短歌等でいかに軽井沢を描いたのか。原稿・書簡・絵画・初出誌・写真など約250点に及ぶ資料から、文学者の目で見た「130年の軽井沢」を展覧いたします。



室生犀星「愛の詩集」出版記念会の寄せ書き 1918年4月頃 画・北原白秋(芥川龍之介の似顔絵)、句・芥川龍之介筆(「引鶴や我鬼先生の眼、寒し」)

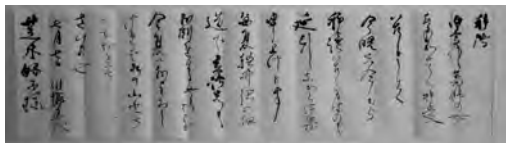


追分・分去れにて 昭和10年代 左から川端康成、堀辰雄、板垣直子、室生犀星、河上徹太郎、板垣鷹穂



堀辰雄「不器用な天使」原稿 東京帝大を卒業する直前、「文藝春秋」(1929年2月)に発表され、文壇デビューを飾った。

堀辰雄愛用の蓄音器
バッハの「ブランデンブルク協奏曲」やシューベルトの「冬の旅」、セザール・フランクの「弦楽四重奏曲」などをSPレコードで聴いた。



川端康成から芝木好子宛書簡 1966年7月7日付 芝木好子「葛飾の女」を贈られたことに対する礼状。「…毎夏軽井沢の旧道で立話してお別れするやうですが今夏はおよろしければ私の山小屋にもお立寄り下さいませ」と書かれている。



川端康成「高原」 1942年7月、甲鳥書林(秋山居・高原・美人競争・百日堂先生・父母・戸隠の巫女)装幀・堀辰雄



立原道造バステル画 1931年頃

遠藤周作「沈黙」1966年3月、新潮社 17世紀の切支丹禁制下、ひそかに日本へ上陸したポルトガル宣教師の布教と苦悩、棄教を通して、日本の精神風土とキリスト教の問題を追及した代表作。1965年夏から初秋まで、軽井沢・六本辻の元病院を別荘として借り、そこで書下ろし長編を脱稿した。



軽井沢高原文庫 〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町塩沢湖202-3
Tel. 0267-45-1175 Fax. 0267-45-6626 <http://kogenbunko.jp>

交通:交通:JR北陸新幹線・しなの鉄道「軽井沢駅」下車、タクシー約10分、または、しなの鉄道「中軽井沢駅」下車、タクシー約7分。上信越自動車道・碓氷軽井沢I.C.より車で約15分。

※会期中、次のバスが運行いたしますのでご利用ください。

<急行塩沢湖線>7/16~9/25迄「軽井沢駅北口バスターミナル④番」→「塩沢湖」下車(有料410円)
<町内循環バス>通年「軽井沢駅北口バスターミナル①番」→「塩沢湖」下車(有料200円)

【関連イベント】

高原文庫の会

「私の軽井沢」

お話し:加賀乙彦(作家・当館館長)
聞き手:矢代朝子(俳優・当館理事)

日時:8月6日(土)14:00~

会場:当館中庭

定員:180名

料金:2500円(ガーデンパーティ費・130年の軽井沢展観覧料含む。但し、友の会会員は2000円)

高原の文学サロン

「私と軽井沢 そしてタゴール」

お話し:下重暁子(作家・日本ベンクラブ副会長)
クラヴィコード演奏:佐伯恵美

日時:8月20日(土)14:00~

会場:当館中庭

定員:180名

料金:一般1500円/学生・友の会会員1000円

※文学サロンは友の会会員を除き、別途入館券が必要です。

※2つのイベントは要予約:

Eメール(e-mail:kogenbunko@yahoo.co.jp)、FAX(0267-45-6626)でお申し込みください。〈電話(0267-45-1175)も可〉

【夏休み特別企画】

軽井沢演劇部朗読会

「睡鳩荘で聴く美しい言葉 朗読と話芸」

出演:山本芳樹(Studio Life)、坂本岳大、矢代朝子、
ゲスト:三遊亭圓馬(7/23のみ)

日時:7/23(土)、7/24(日)各13時~、17時~

会場:旧朝吹山荘「睡鳩荘」

料金:一般4000円/中学生以下2000円(※要予約)

北杜夫「どくとるマンボウ昆虫記」、ヘルマン・ヘッセ「少年の日の思い出」、遠藤周作「ルーアンの丘」、ジャン・ジロドゥ「トロイ戦争は起こらない」、加賀乙彦「雲の都」他(各公演で内容が異なります。HPをご覧ください)

「虫の惑星 地球甲虫展」

会期:7/17(日)~9/4(日)

会場:堀辰雄1412番山荘

地球上の全生物の中で最も種類の多い昆虫(約100万種)。来日50年を迎えるザ・ビートルズ The Beatlesの名の由来にもなっている甲虫類 Beatlesはその4割を占めます。北杜夫が軽井沢で採集した甲虫も特別展示。多種多様な形状や宝石のような色彩をご堪能下さい。

協力:新部公亮

無料(要文庫入館料)

「コドモノクニの世界展」

会期:8/1(月)~8/31(水)

会場:旧朝吹山荘「睡鳩荘」

無料(要タリアセン入園料)

大正・昭和のモダニズムが生んだ日本を代表する絵雑誌「コドモノクニ」(1922-44)のオリジナルを展示します。

次回企画展

軽井沢ゆかりの文学を訪ねて

10月14日(金)~11月30日(水)

